GREEN PEACE

若久緑園季刊紙
グリーンピース　第37号

社会福祉法人共栄福祉会　若久緑園
〒815－0042　福岡市南区若久2丁目3番51号
TEL　(092)551-4011
FAX　(092)551-4012
E-mail :wakahisa-midori@suo.bbiq.jp

INDEX

P1　「巣立ちの場面に立ち会う中で　～子どもたちの移行支援～」
　　園長　中村　隆
P2-3　　各寮より
P4-5　　ミドスポ！（Tボール、サッカー）
P6　　クリスマス会、エイサー
P7　　ボランティア、研修、寄付寄贈など
P8　　苦情解決、地域支援、お知らせなど

HPはコチラ

巣立ちの場面に立ち会う中で ～子どもたちの移行支援～

園長　中村　隆

若久緑園は児童入所施設（福祉型障がい児入所施設）ゆえ、通過の施設です。子どもたちが何かしらの理由があって施設で暮らし、その中で成長していき、次なるステージへ進んでいくことはいわば当然の流れでもあります。春の時期は特に子どもの入れ替わりの多いのですが、巣立つ場に立ち会うと感慨深いものがあります。若久緑園は移行率100%なのですが、その結果そのものが評価されるべきものなのか、今一度検証の必要性を感じています。

その契機になったのは昨秋、日本知的障害者福祉協会機関誌「さぽーと」（平成30年2月号）の執筆依頼があり、移行支援をテーマに書くことになったことです。入所時に人への警戒心のかたまりで入ってきた子どもが、施設での育ち直しを経て、新たな社会資源に繋いでいくという丁寧な取り組みこそが評価されるべきだとの論点で展開しました。特に人への喪失を感じてきた子どもへの支援にゆるやかなソフト面（支援者の輪）での連携が必要です。児童ひとり一人のエピソードや特性、強みを情報提供することや、連携の中で支援者同士が顔見知りになっておくことも、子どもからみたら「自分のことを理解してくれている」という安心感に繋がるものと思います。

2016年の日本知的障害者福祉協会の調査で、福祉型障害児入所施設172ヵ所のデータによると、成人施設併存型139ヵ所、児童単独型で運営しているのは33ヵ所となっており、全体数も含め減少傾向にあり、ますますマイノリティな状況になってきている印象があります。その背景は様々な理由がありますが、そのひとつに、移行支援が進まない状況がある一方で、児童が退所すれば施設運営に直結して影響が出てしまうことも見え隠れします。児童単独型施設の運営は非常に厳しく、移行支援を丁寧に行った結果が運営においては影をおとす皮肉な状況になっています。

若久緑園は従来の通過型でいく児童施設のあり方を守ってきたとの自負もあります。一方で、全国に拡がりつつある小規模ユニット化にも取り組んでいきたいところですが、建てかえも含めての運営資金の調達に見通しが立たないことも頭を悩ましています。今後の展開の中で「子どもを中心」において、若久緑園のあるべき姿を構築していきたいと考えています。

成長して若久緑園から巣立つ時に、彼らが見せる表情は日々の支援の結果だと感じます。次なるステージへ、子どもを真ん中において繋がっていくことが大きな力となったことを若久緑園職員の面々が感じる時間です。この春14名の子どもたちが巣立ちます。保護者、学校、児童相談所、地域等との連携の賜物ともいえます。そして、子どもたちに素直に「ありがとう」と伝えたい。そしてこれからも「繋がっている」ことを感じる支援ネットワークを大切にしたいと思います。

青葉寮

クリスマスやお正月などイベントがいっぱいの冬！！青葉の子ども達は今年は風邪を引く子も少なく、みんな元気にイベントに参加できました。

クリスマス会では、お昼ご飯にピザ、食後はお菓子を食べながらクイズやビンゴに参加し、夕食はバイキング＆ケーキ！ちょっと食べ過ぎた子もいましたが、みんな1日笑顔でした。

お正月には、沢山の子どもが帰省でき、寮に残った子は職員と鍋パーティー♪アットホームな雰囲気でお正月を迎える事ができました。

青葉寮では、1月～3月にかけて進路が決まり、退園する児童が5名います。別れの季節で寂しいですが、新しい門出をみんなでお祝いして送り出したいと思っています。

今年度も、多くの方のご協力・ご支援を頂き、子ども達が元気に1年過ごす事ができました。本当にありがとうございました。

若葉寮紹介

若葉寮の思い出

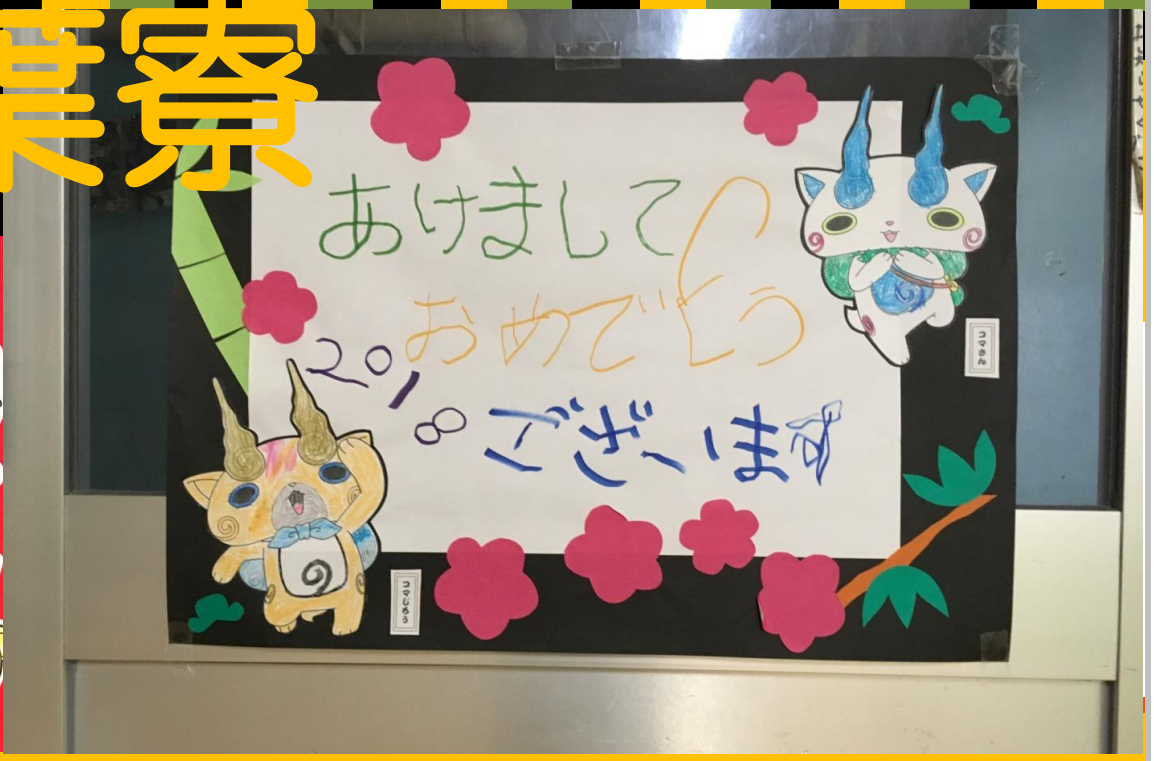
11月18日　秋の外出
デラックス★デリ

秋の外出はデラックス☆デリへ行きました。
焼肉、寿司、デザートなど食べ、みんな大満足でした。

12月23日
クリスマス会

冬休みに入り若久緑園でもクリスマス会を行いました。
体育館へ出し物を見に行ったり、寮内ではビンゴ、映画鑑賞など充実した時間を過ごしました。
昨年子ども達は様々な活動を通して心身ともに成長することができたと思います。
今年もこども達の成長を見守りたいと思います。

照葉寮



照葉寮の冬休み（年末年始）は、クリスマスプレゼントで頂いた新作のゲームやおもちゃ等で機嫌よく過ごしています。また、DVDが見たいと言う子ども達のリクエストに応え、近くのレンタルビデオ店に行き、DVDをたくさん借りて上映会を開きました。お正月もゆっくり過ごすことができ、穏やかな年始を迎えることができました。

上の写真2点は、お正月に向けて、子ども達が照葉寮を飾ろうということで年末に描いたものです。2018年は果たしてどんな年になるのでしょうか。今年も照葉寮児童が明るく健やかな1年を過ごすことができますように。

本年も若久緑園、照葉寮をどうぞよろしくお願い致します。

双葉寮

楽しい一年をまた一緒に作ろうね♡

九州地区知的障がい者施設親善球技大会（熊本大会）

ティーボール九州大会

軌跡の同点劇…大会初！準優勝！

「あきらめない心」で予選リーグ突破!!

ティーボール九州大会が熊本県菊池公園多目的グラウンドで開催された。前日から菊池市の温泉旅館に泊まり、夜には決起集会を開く。一つの部屋に集まり気持ちを一つにして本大会に臨んだ。１回戦は宮崎県代表と対決。初戦は緊張が見られたが、結果１７対１０と完勝。２回戦は長崎県代表と対決。初回から相手の流れで試合が進み嫌なムードで後半へ進む。そんな嫌なムードを変えたのが子ども達の『あきらめない心』だった。最終回には７点追加の猛攻。守ってはファインプレーの連続。長崎県の攻撃を４点に抑え、最終的には１２対１２の引き分け。得失点差でも並び、総得点で決勝進出を決めた。子ども達は決定の瞬間を大喜び。決勝戦は鹿児島県代表と対決。「楽しむこと」を第一に試合に臨んだが、大人の貫録を見せつけられ、初回に全員得点の１３点、２回、最終回にも大量失点と結果は３３対１８の完敗。とても悔しい試合となる。しかし、試合中には若久緑園の児童に対して他施設の方々からの大きな声援を頂き、子ども達も最後まであきらめず、楽しく試合ができた。結果は惜しくも優勝に届かなかったが、勝利した喜び、負けた悔しさ、そのすべての瞬間に立ち会えたことが私自身の成長にも繋がった。子ども達もこの経験が成長につながるのではないだろうか。今後ともご声援よろしくお願いしたい。（秋本）

監督談話

≪予選リーグ≫

順位	チーム名	勝ち点	得失点	総得点
①	川内自興園（鹿児島）	6	26	44
②	大分県選抜	6	12	37
③	熊本福祉センター	3	-4	30
④	月の輪学園（福岡）	0	-10	28
⑤	マルベリー（沖縄）	0	-24	19

順位	チーム名	勝ち点	得失点	総得点
①	若久緑園	4	7	29
②	長崎ワークビレッジ	4	7	27
③	あさひの里（宮崎）	3	-5	27
④	くろかみ学園（佐賀）	3	-5	19
⑤	明星学園（大分）	0	-4	24

≪決勝戦≫

	１回	２回	３回	合計
川内自興園	13	9	11	33
若久緑園	7	4	7	18

持てる力は全て出し切った!!
笑顔の準優勝

ミドスポ号外

知将 肘井監督

若久FC連覇途切れる…

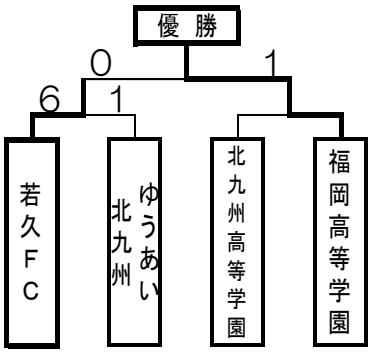
汗と涙、雨と共に散る…4連覇ならず…準優勝

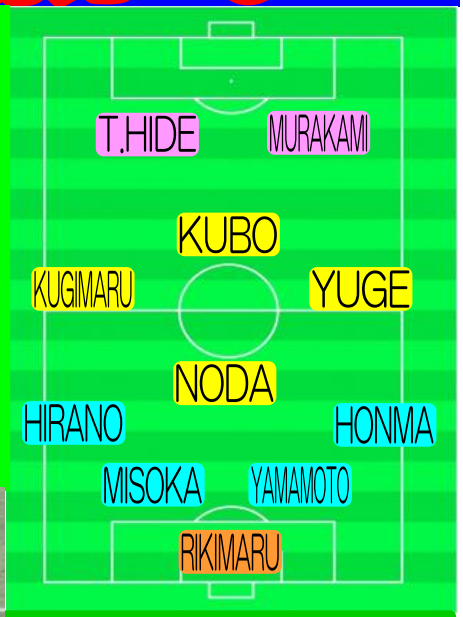
サッカー福岡県大会

【監督談話】

今年度は福岡県選抜チームの活動が多く、選抜メンバーは大会前に良い経験を積む事ができました。しかし、他のチームも選抜メンバーを中心に力を付け、王者としては気が抜けない状況でした。１試合目の北九州ゆうあい戦は、攻撃力を発揮し、前半から得点を重ね、勝利に繋げる事ができました。しかし、不用意なミス＆気の緩みが原因で１失点を喫した事は今後の課題となりました。決勝戦の相手である福岡高等学園には、県選抜のメンバーも多く、非常に緊張感のある試合となりました。攻め込まれる場面が多く、逆にこちらの攻撃は決め手を欠きました。そんな中、失点を喫してしまい、選手達も取り返そうと必死に攻めましたが、力及ばず「１対０」での惜敗となりました。今回は残念ながら準優勝という結果に終わりましたが、今回の敗戦を卒園生は今後の生活の糧とし、在園生は雪辱を果たす為に努力できるようにサポートしたいと思います。当日は応援の為、たくさんの方々に会場まで足を運んで頂き、ありがとうございました。（肘井）

【大会トーナメント】





【監督】肘井
【コーチ】永田
【控え】KAWACHI SAKAI AKAMINE

雨の決勝戦!! 得点奪えず…

来季のチーム構築へ着手！

選手宣誓！

【ロッカールーム】

今年のチームは、高校３年生が中心のチーム編成になりました。彼らにとっては最後の大会で、優勝にこそ手が届きませんでしたが、本当に最後までよく戦ってくれたと思います。県大会に向けて、１０月から練習計画を立て、緑園のグラウンドで基礎練習・体力作りに励みました。１１月は、職員との練習試合を２回行いました。緑園職員以外にも沢山の方が参加して頂き、選手にとっては充実した時間を送ることが出来ました。大会当日も悪天候の中、スタンドからは大きな声援を頂き、本当にありがとうございました。今回の敗戦は、彼らの人生の中で大きな宝となってくれると思います。（番記者：永田）

12月23日 クリスマス会

クリスマス会

今年のクリスマス会を12月23日に行いました。体育館では歌やダンスを披露する児童、職員の出し物などで大盛り上がりでした。各寮でのプログラムもこども達は楽しんでいました。昼食にはピザ、夕食にはバイキングと大満足の様子でした。

エイサー

in トヨタハートフルプラザ福岡

二〇一七年十月二十八日、トヨタハートフルプラザ福岡様からのご招待を頂き、若久緑園エイサーを披露いたしました。

心地良い緊張感の中、私たち一人ひとりの祈りを乗せた太鼓の音は、会場に来てくださった方々の気持ちと一つになり、秋空に響き渡っていきました。

貴重な機会をありがとうございました！

なにわ鮨さん「恵方巻のボランティア」ありがとうございました

今年も、博多区の「なにわ鮨」さんに来ていただき、恵方巻を作りました。今年の方角は「南南東」。教えていただきながら、自分たちで作った恵方巻を食べてました。一人ひとり、一年間のお願いをしていましたが、普段はにぎやかな食事風景なので、静かな食事で、笑ってしまう子どももいました。

10年以上続けて来ていただき、こども達の楽しみのひとつになっています。今年も、本当にありがとうございました！！

9月・10月　園内研修

9月「子どもと発達～健常児発達・愛着の観点から～　講師：トータルサポートハロー　竹石　綾子氏

健常児の発達を基に、愛着の重要性や子どもたちの発達が今どのくらいなのかといった話を、具体例を用いて分かりやすく講義していただきました。今後も、発達や愛着形成について学びを深めていきます。

10月「事例検討」　講師：トータルサポートハロー　竹石　綾子　氏

9月に引き続き、竹石氏に講義をしていただきました。今回は、緑園児童の実例をもとに、成育歴や発達状況を含んだアセスメントを基に、グループで個別支援計画を作成しました。適宜、竹石先生からアドバイスをいただき、それぞれのグループで今後の支援を見直すことができました。

11月「職員メンタルヘルス」　講師：フリースクールゆうゆう　梅津　和子　氏

職員メンタルヘルスということで、チェックシートなどを行いながら、とても分かりやすい講義をしていただきました。職員が元気で働くことができる職場を目指して、メンタルヘルスにも取り組んでいきたいと思います。

若久緑園主催研修会　を実施しました。

こどもの「生」と「性」との学び

講　師：甘木山学園　坂口明夫　氏　　日　時：平成30年1月18日（木）　18：30～
場　所：福岡市ふくふくプラザ

若久緑園主催の研修会ですが、今回で2回目となりました。様々な事業所や関係者の方、合計120名に参加していただきました。

前半は、甘木山学園や坂口氏の現在までの取り組みなどの説明があり、後半は、タイトルの「生」と「性」についての講義をいただきました。直接、「性」についてアプローチすることではなく、その子の人生、自立を共に支援者も歩んでいくことの大切さ、共感、傾聴することの大切さが、子どもたち自身の「性」の認識に繋がっていくということを学ぶことができました。

多数のご参加、ありがとうございました。

寄付・寄贈

- ○ 西日本新聞民生事業団　様　から　クリスマスケーキ
- ○ 梶山　信幸　様　から　寄付
- ○ 波多江　様　から　お菓子
- ○ 大野　様　から　大根
- ○ ライフネス　様　から　食料品　をいただきました。ありがとうございました。

苦情受付委員会からお知らせ

今回は苦情等の受け付けはありませんでした。
苦情相談等がございましたら、お気軽に苦情受付担当者に申し出て頂くか、事務所前に備え付けている「ご意見箱」にお入れください。

若久緑園に関する質問・意見・疑問などがございましたら、下記の苦情受付委員までお申し出ください。誠意をもってご返答致します。

【苦情受付担当者】 上原桂一郎（統括部長）
鬼塚康宏（支援部係長）
【苦情解決責任者】 中村隆 （ 園 長 ）

【第三者委員】
武末 政利（春日市桜ヶ丘自治会長）
電話：092－582－3802

諏訪田 孝一（新開学園園長）
電話：090－5939－4712

事務所で直接話づらい、話し合っても解決できない時はこちらでもご相談をお受けしています。
（匿名でのご相談も可能です）

福岡県運営適正化委員会事務局（社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会）
住所：春日市原町3丁目1番7 クローバープラザ4階（東棟）
電話：092－915－3511

ホームヘルパーステーション ゆんた

ホームヘルパーステーションゆんたでは地域に住まわれるハンディキャップを持った方に移動支援、行動援護、身体介護、家事支援といった福祉サービスを提供しています。

冬はイルミネーション外出支援

季節がら、イルミネーションを見に行くご依頼を多くいただきました。
ご利用者さん、ヘルパーの感想です♪
写真は福岡城跡です☆

福岡城跡は初めてでした。
とてもキレイで楽しかったです♪

楽しんで頂けて良かったです！
夜間なので足元などに配慮しながら来年も出かけたいですね。

普段は夜間の外出にあまり行くことがないので楽しかったです☆

放課後等デイサービス「ガーデン」

ガーデンでもクリスマス会をしました♪

12月25日はクリスマス会をしました。
ゲームやレク、マジックなどの催し物。
昼食はビュッフェスタイルで普段と違う雰囲気を楽しんでいただきました！
来年も楽しみです♪

←ビュッフェメニュー

プレゼント♪
↓

2月3日は節分です！

2月3日は節分。
恒例の豆まきです！
鬼に扮した職員めがけて
「鬼は外～！」
みな自作の福のお面をかぶり大盛り上がりでした☆
おやつもシュークリームも節分Ｖｅｒ．です♪

↑鬼シュー！
好評でした！

ガーデン
Garden
〒815-0042 福岡市南区若久2-3-51
TEL 092-551-3156 FAX 092-551-3140

お知らせ

今回のGREEN PEACEは
青葉寮、Y・Sくんでした。
ありがとう☆

GP グリーンピース 次号は！

特集

次号は4月発行予定 新人職員紹介など

園内の行事やこどもたちの様子など随時更新中！